



前進

第3号

5月20日発行

文責：濱田

育てたい力：共感力・探究力・協働力

◎新型コロナウイルス感染症感染拡大防止への取組

ゴールデンウィーク終了後、新型コロナウイルス感染症の拡大が全国的になかなかおさまりません。

本校でも感染拡大防止について再度職員で共通理解し、子供たちに適宜指導を行っています。その他、音楽の授業は広い多目的ホールで行ったり、グループで話し合いを行う際には4人の机をひし形に配置して行ったりするなど、職員が工夫しながら毎日の学校生活を行っていますところ。

また、昨年度に引き続き、学級閉鎖や出席停止の場合はリモートで授業参加を行うようにしています。

校内での感染拡大防止に向けて、できることを的確に共通実践しながら進めています。これまで同様、ご家庭でもお子様の健康チェック等を入念に行

っていただくよう、よろしく願いいたします。学校とご家庭で協力し、密な連携を行い、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めていきましょう。

◎やっぱり運動は大切

晴れた日の運動場では、体育の時間に子供たちの元気な声が響き渡っています。特に教室内ではマスクをしている姿のみを見ているので、マスクを外して活動する姿を見るのは私にとっても新鮮です。いくつかの学年では陸上運動に取り組んでおり、心地よい気候の中で、気持ちの良い汗をかいています。



◎何にでも興味津々。校庭探検をしました。

5月18日(水)の5校時に、1年生は校庭探検をしました。その日は朝から校庭探検を楽しみにしている子供たちが多く見られました。

実際に校庭を歩きながら、遊具やプール、シロツメクサなどの草花、小さなバッタなど、様々なものに興味津々の様子でした。

「校庭で見つけたものを絵や言葉で表してごらん。」と担任が指示すると、ノートに次々と書き込む子がたくさん見られ、小学校入門期の子供たちの期待の大きさを感じたひと時でした。



◎自転車の安全な利用について

前回の学校便りで、自転車損害賠償保険等への加入について令和3年10月から県の条例で義務化されたことについてお伝えいたしました。その他にも「熊本県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」には保護者の努力義務として「保護する者に、必要な技能・知識を習得させ、ヘルメット等を着用させる等の対策の実施」が示されています。自転車による交通事故発生は5～7月に多い傾向にあります。学校でも道路での飛び出しを含め、交通安全に係る全般的な指導を行っていきます。ご家庭でもヘルメットの着用を含めた安全な自転車の乗り方や歩行の仕方についてお子様と確認をよろしくお願いいたします。

◎クラブ活動スタート！

5月19日(木)からクラブ活動がスタートしました。(写真は茶道クラブとパソコンクラブの様子です。)

異学年の交流を深める機会にもなるように工夫していきたいと思えます。



【校長室から】家庭訪問も終わり、いよいよ学校の教育活動も通常を取り戻そうとしています。子供たちの成長に向けて、どの職員も頑張っているところです。佐敷小は組織として協働性を大切にしています。全校児童を全職員で育てるという意識で、今後も佐敷小の活性化を図っていきます。